1. はじめに

当文書では，提案手法(FSSR)のプレイヤ実装にあたり，試行錯誤した点についてまとめる．

1. 超解像処理による再生の遅延

超解像中にopencvのimshowを利用した再生を行うと，超解像処理によるCPU負荷が大きくなり，フレームレート以下の速度で再生が行われてしまう．

そこで，pytorch内で利用されるopenmpのマルチスレッド数を制限することで，超解像処理の負荷を軽減する．

export OMP\_NUM\_THREADS=2

当計算機のCPUは2コア4スレッドであり，当プレイヤはメインスレッド，超解像スレッド，再生スレッドの3スレッドを利用するため，超解像スレッドに割り当てられるのは2スレッドまでと考えられるためである．